

# 研修員's VOICE

Vol. 19

世界各国からJICA沖縄にやって来た  
研修員を紹介しています。

出典：外務省HP



研修コースの仲間たちと(中央がナンシーさん)

氏名: Ms. Nancy Jasmin DIAZ CORTES

国名: コロンビア共和国 (ナンシーさん)

研修期間: 2018年10月3日 ~ 2018年11月 25日

コース名: 熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です



8 働きがいも  
経済成長も



14 海の豊かさ  
を守ろう



15 陸の豊かさ  
を守ろう

## コロンビアってどんな国ですか？

南アメリカ西北部に位置し、ベネズエラ、ブラジル、ペルー、エクアドル、パナマと国境を接しています。国土面積約114万km<sup>2</sup>(日本の3倍)、人口約4,800万人(ラテンアメリカではブラジル、メキシコに次ぐ第3位)、先住民、ヨーロッパ系、アフリカ系が混在し、幅広い文化と人懐っこい国民性を合わせ持ちます。カリブ海と太平洋に面した美しい海岸線や、アンデス山脈や砂漠、アマゾンといった多様な豊かな自然を求めて世界中から観光客が訪れます。野鳥の種類は世界一でバードウォッチングも人気です。



シエラ・デ・ラ・マカレナ国立自然公園のキャノ・クリスタレス

## どんな研修をしていますか？



沖縄本島北部やんばるでのトレッキングツアー

国では観光アドバイザーとして、外国向けの観光プロモーションや国内向けの法整備を行っています。今回の研修では、エコツーリズムを導入するための計画や手法を学んでいます。研修では日々多くを学んでますが、日本では地域の人々が地域資源を守り持続的に活用するため、地域主体で取り組んでいることに感銘を受けました。自国では、政府主体で地方は受身のことが多いため、今後は住民を巻き込んだ地域主体の活動を行っていくことが課題です。研修で学んだことを活かし、帰国後の活動に励みたいと思います。

## 沖縄での生活はどうでしたか？

沖縄そば、モズク、さんぴん茶など沖縄の食べ物が大好きです。やんばるの星空や石垣の川平湾など素敵な場所も訪れましたが、何と言っても東村でのホームステイが最高でした。沖縄の家庭の様子やホストファミリーの温かさを感じ、素晴らしい体験ができました。沖縄では毎日違う文化を学び、新しい発見があります。帰国が近くなった現在は、家族に早く会いたいという思いと、JICA沖縄のスタッフや仲間、研修先のみなさんと別れたくないという複雑な気持ちでいっぱいです。素晴らしい研修の機会に感謝します！



ふれあい講座でコロンビアを紹介しました

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、「誰一人取り残さないーNo one will be left behind」を理念として、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針で、17のゴールが設定されています。JICAはSDGsの達成に向けて積極的に取り組み、17のゴールに貢献する研修を実施しています。